

まばたきで脳リフレッシュ?

阪大グループ発表

まばたきには、脳の活動領域を切り替えて、リフレッシュさせる役割があるらしい。そんな研究結果を、大阪大の中野珠実准教授らのグループが米科学アカデミー紀要で発表した。

人間は1分間に15〜20回ほどまばたきをしている。眼球を潤す役割だけでは、これほど多くする理由を説明できなかった。

グループは映画を見ている人がストーリーの展開に応じて、ほぼ同じタイミングでまばたきしていることを突き止めている。今回、ま

——ただし無意識の時だけ

ばたいたときの脳の活動を、男女20人を対象にfMRI（機能的磁気共鳴断層撮影）を使って調べた。外部に注意を払っているとき盛んに働く部位の活動が下がる一方、頭の中で考え事をしているときによく働く部位の活動が上がる、といった切り替えが起こっていた。

グループは「まばたきは脳に入る情報に区切りをつけて、新たな展開に備えられるようにする役割を果たしているのではないか」とみる。ただ、切り替えは無意識のまばたきだけで起こり、わざとまばたきを増やしてもリフレッシュされないという。

（須藤大輔）